



Rekitomo Newsletter

レキハク 20 周年、友の会も 20 周年!!



2020 年度の新潟県立歴史博物館友の会

新型コロナウイルスに負けないよう、今後さまざま計画を立てていきます（※）。
現状で決定しているものを、ここにお知らせします。
会員の皆様には、ご期待いただくとともに、種々ご協力のほどお願いいたします。

毎年恒例！友の会の展覧会 ⇒ 今年は秋に開催!!

2020年10月10日(土)～11月15日(日)



2019年の展覧会の様子から

**第17回マイ・コレクション・ワールド
&**

会員創作活動展 “歴史をつくる、歴史からつくる”

研修旅行 ⇒ 「北海道・噴火湾沿岸を巡る」(秋以降で実施を検討)

*****さらに別の研修地も今後探っていきます*****



きのこ観察会 (10月中旬)
今年もクマ鍋が登場か???



会員の集い 2020
今年のテーマは???



芝刈り

6/27、7/25、8/29、9/26 を予定

※ 2020年3月12日に理事会を開催。新型コロナウイルスの今後の状況が不明瞭なことから、原則として年度当初四半期(6月まで)は、主な事業を控えることとなりました。ただし、その後は状況を見ながら、例年と変わらない事業内容を維持したいと思っています。何卒ご了承ください。

「出羽の多様な文化に触れる旅」に参加して

山田 美由紀

12月7日(土)～8日(日)と山形に研修旅行に行きました。7月の研修旅行でのアンケートの結果、希望者が一番多かった北海道へ行く予定が山形に変更になった訳は、冬の時期は北海道の見学先が閉鎖されているからで、今回は北海道の次に希望者が多かった山形に行くことになったそうです(ちなみに北海道へは5月の連休後に行く予定だそうです)。

小林達雄先生、事務局の山本さん、友の会会員22名、一般参加者1名の、総勢25名での旅となりました。

旅行期間中は自称晴れ男の事務局山本さんのおかげで？雨も雪も降ることなく、楽しく過ごす事が出来ました(でも本当は、強力な晴れ女の私が参加したから天候が良かったのだと思っています)。

1日目の最初の訪問先『夕鶴の里資料館』で嬉しいサプライズがありました。資料館の入口に大勢の人が集まっていたので、何だろう？と思って近寄って行くと、なんと私たち(正確に言うと25人中の誰かが)が40万人目の来館者だったようで、花束と記念品贈呈、くす玉が割られ、記念写真、テレビや新聞の取材もありました。ケンカすることのないように皆にプチプレゼントの用意もあり温かい心遣いに感謝です。友の会の旅行に参加された方は分かるでしょうが、いつもぎゅうぎゅうに詰め込まれた行程の中で動いているので、セレモニーで時間が取られて見学時間がますます無くなってしまい、ちょっと残念。



夕鶴の里資料館で、サプライズの記念撮影

昼食に山形名物の芋煮を食べ、『山形県立博物館』で国宝の縄文の女神を見てから『山形美術館』、『広重美術館』とバタバタとまわりました。

今回の宿泊先の天童温泉、当日まで宿泊先が謎のまま、『広重美術館』で説明を受けている途中で、『滝の湯』が宿泊するホテルだということが分かり「まるでミステリーツアーのようだね」と話をしていました。



国宝に群がる会員をよそに、小林先生は…



国宝は、この顔で何を想っているのか…



湯殿山総本寺 瀧水寺大日方



住職の話に引き込まれる

2日目、まず向かった先は『湯殿山総本寺 瀧水寺大日方』です。即身仏真如海上人の説明をされた住職の話は面白く、また上手に真如海上人の御衣の切れ端が入っているお守りを勧められ、ついつい購入してしまいました。そして何だか分からない内に住職からお祓いをしていただきました。(何のお祓いだったのですか？道中の交通安全かな？)

次に羽黒山へ行き三神合祭殿でお参りをしてから致道博物館へ。ぶらぶらと歩きながら建物の中を見学し、昼食でまた芋煮を食べて、最後の見学場所の加茂水族館へ行きました。クラゲの水族館として人気の水族館です。大水槽にクラゲがいっぱい入っていて、幻想的な演出がされていて、とても癒されました。

皆がケガや体調不良もなく元気に帰って来ることができたのは、きっと湯殿山大日方でのありがたいお祓いのおかげなのでしょう。



幻想的な“クラネタリウム”

会員期限の改定に関する **重要!!** なお知らせ

会員の皆様には友の会の会員特典を有効に利用していただきたく、その都度運営方法を見直し改定してきたところですが、近年事務局の事務複雑化が著しく、良好な運営に支障をきたしてきました。そのため事務局の適切な運営維持を目指すため、理事会の承認のもと、会員の期限設定に若干の変更をさせていただくこととしました。今後、以下の通りとさせていただきますので、何卒ご了承ください。

【現状】

1～12月まで毎月それぞれ期限とする会員が存在

→

【改定後】

3月・6月・9月・12月の4期に分ける

【改定の手順】 ※令和2年度6月以降、段階的に変更いたします。

◎現会員

現在 6月末日～8月末日を期限とする会員

→6月中に更新案内送付、9月末日までの納入で翌年9月末日までの会員期間とする

現在 9月末日～11月末日を期限とする会員

→9月中に更新案内送付、12月末日までの納入で翌年12月末日までの会員期間とする

現在 12月末日～2月末日を期限とする会員

→12月中に更新案内送付、3月末日までの納入で翌年3月末日までの会員期間とする

現在 3月末日～5月末日を期限とする会員

→2021年3月中に更新案内送付、6月末日までの納入で翌年6月末日までの会員期間とする

◎新入会員

7月1日～9月末日 納入者 → 翌年9月末日までを会員期間とする

10月1日～12月末日 納入者 → 翌年12月末日までを会員期間とする

1月1日～3月末日 納入者 → 翌年3月末日までを会員期間とする

4月1日～6月末日 納入者 → 翌年6月末日までを会員期間とする

★★★ レキハクから異動される方、異動してくる方 ★★★

毎年やってくる人事異動。今回は以下の方が新潟県立歴史博物館から異動されます。これまでのご尽力、ありがとうございました。

副館長 玉井章広 (加茂農林高校事務長に転任)
 経営企画課 専門研究員 中澤広行 (長岡市立小国小学校校長へ転任)
 経営企画課 主任 小林正明 (土木部へ転任)

新たに新潟県立歴史博物館に赴任されるのは、以下の方々です。これからよろしく願いいたします。

副館長 高井勝幸 (新津高校事務長から転任)
 経営企画課 専門研究員 種岡和也 (南魚沼市立北辰小学校教頭から転任)
 経営企画課 主任 林 吾郎 (長岡健康福祉環境部から転任)

新型コロナウイルス…、まさかこんな大騒ぎになろうとは…。博物館界も全国的に休館に追い込まれるところが多く、新潟県立歴史博物館も例外ではありませんでした。

まだまだ予断の許さない状況が続いていますが、年度替わりがやってくる以上、できる、できないに関わらず、とりあえず次の準備をしておかなければなりません。

当初四半期は原則事業無しとしたものの、その後は間違いなく実施に至るのか。その不安が杞憂に終わることを祈りつつ、2020年という年が結果的に良い年であったと言えるようにしたいものです。
 (事務局 T)

新潟県立歴史博物館友の会会報 No.17

2020年3月15日発行

[事務局] 新潟県立歴史博物館 経営企画課内
 〒940-2035

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2

TEL 0258-47-6135・6141 FAX 0258-47-6136

E-mail rekitomo2014@yahoo.co.jp